

附錄一

日本的小學學習指導要領（譯文）

第二章 第七節 圖畫工作（美勞）

第1 目標

透過表現與鑑賞活動，培養造形的創造活動的基礎能力，並體會表現的喜悅與涵養豐富的情操。

第2 各學年的目標與內容

【第一學年及第二學年】

1、目標

- (1)、體會以媒材為主的造形活動的樂趣，藉由各種媒材引發豐富的創思，逐步進行，以完成造形活動。
- (2)、以自己的創作方式將想表現的、想做的表現出來，從中感受創作過程的喜悅。
- (3)、能關注欣賞所畫的、所做的作品，體會其中的樂趣。

2、內容

◎第一學年

A 表現

- (1)、以媒材為主，快樂地進行造形活動。

ア 親近砂、土、黏土等材料，以這些材料為主，用整個身體進行造形遊戲。

イ 關注生活周遭的自然物與人造物的形狀、色彩，將之透過排列、堆積、簡易版印等技法，進行所想的造形遊戲。

- (2)、能將感覺到的、想到的以圖畫或立體的方式表現出來。

ア 使用喜歡的蠟筆、粉蠟筆等色彩，將心中所想的自由自在以圖畫表現出來。

イ 親近黏土，運用雙手將心中思及的自由自在以立體的方式表現出來。

(3)、能創作出增進生活樂趣的東西、裝飾品、所想像的作品。

ア構思想做的東西的形狀、色彩、製作技法等並創作。

イ使用紙、剪刀、糊、膠水等從身邊容易取得的材料、用具，充分運用雙手進行創作。

B 鑑賞

(1)、能關注並欣賞所畫的、所做的東西。

ア互相欣賞作品，說出自己及朋友的作品所欲表現的感覺，並聽聽朋友的意見。

◎第二學年

A 表現

(1)、以媒材為主，快樂地進行造形活動。

ア從生活周遭的自然物與人造物的形狀、色彩引發創思，用整個身心進行造形遊戲。

イ關注生活周遭的自然物與人造物的形狀、色彩的特徵，將之透過排列、堆積、組合等技法，用心進行造形遊戲。

(2)、能將感覺到的、想像到的事物，以圖畫或立體的方式表現出來。

ア關注形狀、色彩等，使用蠟筆、粉蠟筆等各種顏色，將所想的自由自在以圖畫、簡易的版畫表現出來。

イ親近黏土，構思造形，充分活動雙手將所想的自由自在以立體的方式表現出來。

(3)、能創作出增進生活樂趣的東西、裝飾品、所想像的作品。

ア構思想做的東西的形狀、色彩、製作技法等並用心創作。

イ使用厚紙、簡單的小刀類等、以及上學年為止經驗過的材料、用具，充分活動雙手進行創作，同時關注如何適切地使用這些工具、材料。

B 鑑賞

(1)、能關注並欣賞所畫的、所做的東西。

ア欣賞作品，同時將有關自己及朋友的作品所欲表現的感覺及個人感受說出來，並與朋友互相交換意見。

【第三學年與第四學年】

1、目標

- (1)、能發揮從媒材引發出的豐富創思以加深體驗，以提昇對媒材的感覺，關注自己的看法與表現方式，用心予以表現，逐步進行，以完成造形活動。
- (2)、思考促進生活樂趣的東西之用途、美感與製作方法，並進行創作從中體會使用的樂趣，同時也藉以提昇設計能力與創造性工作能力。
- (3)、能關心並欣賞朋友的作品與身邊的造形。

2、內容

◎第三學年

A 表現

- (1)、以媒材為主，能用心進行造形活動。
ア關注並加以收集生活周遭的自然物與人造物的形狀、色彩等趣味性特徵，構思如何發揮其特色，進行所想的造形遊戲。
- イ考量木片等生活周遭的材料的形狀、色彩等特徵，將之切割、組合做出新的造形，進一步由此構思新造形進行造形遊戲。
- (2)、能將看到的、感覺到的、想像到的事物，以圖畫或立體的方式表現出來。
ア思考東西的位置、形狀、色彩等，使用水彩等將之表現於圖畫上，或以紙版畫表現。
- イ從各種不同的角度觀察想表現的感覺，以黏土做立體的表現。
- (3)、能創作出增進生活樂趣的物品、裝飾品、視覺傳達性質的物品。

ア構思出想做的東西之用途、美感等，選擇使用適當的形狀、色彩、材料，重視這些感覺以進行創作。

イ將想做的東西畫成簡單的設計圖，構思造形、穩固的組合方法、能發揮動感的趣味性的表現法等，訂立計畫，用心進行製作。

ウ配合想做的東西，使用板材、簡單的小刀、容易使用的鋸子等，以及至上學年為止經驗過的材料、用具，進行創作，同時能適切的使用。

B. 鑑賞

(1)、能關注作品的欣賞。

ア關注並欣賞朋友的作品之表現動機與風格。

イ關注並欣賞與作品所欲表現的東西，及相關生活周遭的造物的優點、趣味性。

◎第四學年

A 表現

(1)、以媒材為主，能用心進行造形活動。

ア從生活周遭的材料之形狀、色彩、活動場所的特徵等引發創思，和大家一起構思、進行造形遊戲。

イ發揮木片等生活周遭的材料之特徵，將之切割、組合、連接，做出新的造形，同時再進一步由此構思新造形，快樂地進行造形遊戲。

(2)、能將看到的、感覺到的、想像到的事物，以圖畫或立體的方式表現出來。

ア思考東西的位置、形狀、色彩等，從水彩用具的使用法下工夫，以圖畫、簡易的木版畫表現。

イ從各種不同的角度觀察想表現的感覺，把握黏土的特性、並使用用具等做立體的表現。

(3)、能創作出增進生活樂趣的物品、裝飾品、具有傳達性質的物品。

ア構思想做的東西之用途、美感等，用心選擇及使用適當的形狀、色彩、材料，關注形狀的對稱、反覆、律動等感覺，色彩的冷暖、明暗等感覺，以及材料的質感以進行創作。

イ構思如何將想做的東西畫成簡單的設計圖，構思造形、穩固的組合方法、能發揮動感的趣味性的表現法等，以訂立計畫，並用心進行創作。

ウ配合想做的東西，適切地使用版材以及至上學年為止經驗過的材料、用具進行創作，同時在用具的使用上能更加適應。

B 鑑賞

(1)、能關注並欣賞作品。

ア關注並欣賞朋友的作品，及個人熟悉的美術品之美感與表現技巧。

イ關注並欣賞與作品所欲表現的東西，及相關生活周遭的造形物的優點、趣味性。

【第五學年與第六學年】

1、目標

- (1)、加深造形的看法與感覺，發揮想像力、精鍊構思主題的表現方法，在技法上用心表現，以增進造形的創造表現能力。
- (2)、思考增進生活樂趣的東西之用途、美感，精鍊構思並製作之，藉以提昇設計與創造性工作能力。
- (3)、繼續鑑賞造形作品，瞭解其優點與美感之所在，藉以提昇感性，並能將造形作品加以珍惜。

2、內容

◎第五學年

A 表現

- (1)、能將看到的、感覺到的、想像到的事物，表現在圖畫上。
ア為了讓想表現的事物生動地加以表現，能把握形狀、色

色彩等特徵與美感，精鍊構思畫面構成等表現技法，在圖畫上表現或以版畫表現。

イ爲了讓想表現的感覺表現出來，思考水彩等畫具的特性以表現之，或思考木版畫表現的特徵來加以表現。

(2)、能將看到的、感覺到的、想像到的事物，以立體的方式表現出來。

ア爲了讓想表現的事物能充分表現出來，把握立體的特徵與美感，精鍊構思表現的技法，做立體的表現。

イ爲了讓想表現的感覺表現出來，思考黏土、生活周遭的材料特性加以表現，或是應用材料特徵引發創思做立體的表現。

(3)、能創作出增進生活樂趣、充實生活內涵的物品，將生活周遭的環境，作造形的構成以及創作出具有傳達性質的物品。

ア思考想做的東西之用途、美感、樂趣等，關注隨著形狀變化所產生的動感、色彩的強弱感以及材料的質感等，以進行創作。

イ將想做的東西畫成簡單的設計圖，依照需要試作，精鍊構思其造形、穩固的組合方法、發揮動感的趣味性的表現法等，進行計畫性的創作，並從材料的特徵引發創思。

ウ配合想做的東西，適切的選擇及使用適合燒成的黏土、線鋸以及至上學年爲止經驗過的材料、用具來創作，同時在用具使用上也能適應。

B 鑑賞

(1)、能鑑賞並親近造形作品。

ア關注並鑑賞具有親切感的我國美術作品的優點與美感。

イ鑑賞朋友的作品，關注其表現的意圖與特徵，同時也互相瞭解其優點等。

◎第六學年

A 表現

(1)、能將看到的、感覺到的、想像到的事物，表現在圖畫上。

ア爲了讓想表現的事物充分呈現，把握形狀、色彩等特徵與美感，精鍊構思畫面構成等表現技法，在圖畫上表現或以版畫表現。

イ爲了讓想表現的感覺呈現出來，發揮水彩等畫具的特性，或是發揮木版畫表現的特色。

(2)、能將看到的、感覺到的、想像到的事物，以立體的方式表現出來。

ア爲了讓想表現的事物能充分呈現，把握立體的特徵與美感，精鍊構思表現技巧，做立體的表現。

イ爲了讓想表現的感覺呈現出來，發揮黏土、生活周遭材料的特性以表現，並應用材料特徵引發的創思做立體的表現。

(3)、能創作出增進生活樂趣，充實生活內涵的物品，將生活周遭的環境作造形的構成，以及創作出具有傳達性質的物品。

ア構思想做的東西之用途、美感、趣味性等，綜合的發揮形狀、色彩、材料等特色以進行創作。

イ將想做的東西畫成設計圖，依照需要試作，從過程中精鍊構思其造形、穩固的組合方法、能發揮動感的趣味性的表現法等，進行計畫性的創作並從材料的特徵引發創思。

ウ配合想做的東西，適當的選擇至上學年爲止經驗過的材料、用具，同時在使用上綜合運用發揮工作的技法。

B 鑑賞

(1)、能鑑賞並親近造形作品。

ア關注並鑑賞具有親切感的我國與世界各國美術作品的優點與美感。

之鑑賞朋友的作品，瞭解其表現的意圖與特徵，同時也互相瞭解其優點等。

第3 教學活動計畫的設計與各學年之間內容的安排與運用

1、在教學活動計畫的設計上，應注意以下之事項

- (1)、有關第2之各學年內容的「A表現」的指導上所分配的時數，第一學年至第四學年為(1)及(3)所分配的時數，第五學年、第六學年為(2)及(3)所分配的時數。各自都不可少於各學年的年度教學時數之二分之一。
- (2)、有關第2之各學年內容的「B鑑賞」的指導，以和「A表現」作關聯性的指導為原則。但是，在第五學年與第六學年，為了提昇教學效果，在必要的情況下，可作獨立性的鑑賞教學。
- (3)、有關第2之各學年內容的「A鑑賞」的指導，應酌情設計共同創作的活動。
- (4)、為了讓各個兒童都能發揮特性進行表現活動，其題材應具有彈性，同時能讓兒童選擇適合自我表現的創作方法。
- (5)、在低年級，應注意與自然科、社會科教學之間的聯繫，以提昇教學效果。

2、材料、用具的使用，應注意以下之事項

- (1)、依實際之需要，可酌情於前學年擇取初步的模式作嘗試，至該學年再反覆練習操作與使用，讓兒童對材料與用具的應用能達到熟練的地步。
- (2)、能擇取利用社區附近的材料。
- (3)、意外事故的防止。

3、於校內適當的場所展示作品，在日常的學校生活中有必要注意提供鑑賞活動的機會。

附錄二 各觀點、學習狀況的評量與指導

*表現分野の略号 [絵]絵に表す [立]立体に表す [つ]つくりたいもの [鑑]鑑賞 [全]全分野

観点	指導の留意点	評価の事例	
		[絵に表す]	[立立体に表す]
造形への 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもが表現したいという主題になるのを見つけ、自分らしさを表現することの大切さが分かって、表現に取り組めるような雰囲気づくりをする。[全] 自分の身の回りを美しく造形的に整えたり、生活を楽しくする造形活動に積極的にかかわるよううにさせる。[全] 身の回りの材料の形や色、材質から受けける感じに興味や関心をもたせ、造形感覚を豊かにするような環境や雰囲気づくりをする。[全] 作品を大切にしたり、製作後の後かたづけを進んで行ったりするなどの学習態度を身につける。[全] 	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に表現主題に取り組み、自分なりに工夫して表現しているか。[全] 製作の準備や材料の収集などを積極的にを行い、粘り強く表現製作に取り組んでいるか。[全] 製作後の後かたづけや用具の保管や手入れを進んで行っているか。[全] 	<ul style="list-style-type: none"> 表現主題をはつきりと決め意図した感じがよく表れるよう下絵の構想を練っているか。[絵] 白と黒のバランスを考え、表すものを画面構成しているか。[絵]
発想や構想の能力	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どものものの見方や感じ方、表し方などが個性になってくるので、個別に助言援助を行い、自分の表現製作に自信をもたせるようにする。「全」 写実的に表そうとする欲求が増していくが、対象の再現ではなく、対象の美しさや特徴を自分なりに感じとり、その表し方を工夫して表現するように励ます。「絵、立」 表したいことの形や色の美しさ、力強さ、おもしろさ、不思議さなどの特徴をしっかりとえさせて構想を練るようにさせる。「絵、立」 立体に表すでは、粘土を手にして、その材質の感じから表そうとする最初のイメージが変容していく場合もあるので、構想段階での柔軟な扱いをし、思いがふくらんだり深化するように援助していく。「立」 立体に表す場合には、自然の粘土を主材料とするが、身近な自然物や人工の材料から表現したい感じを表すのに適したものを選んで使うなど、自分の思いが表現できるように指導する。「立」 つくりたいものの用途を満たす条件をはつきりさせ、形や色の美しさや材料の性質などを考えて、主体的に材料選択ができるようにする。「つ」 形の動きや方向感、色の強弱、材質の感じなどに関心をもち、自分の表したい思いがじゅうぶんにかなえられるように発想や構想を練らせる。「全」 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かで独創的な表現をするために、自分なりの発想や構想をじゅうぶんに練り上げているか。「全」 自分の思いがじゅうぶんに表現できるよう、多様な角度から検討して発想や構想を粘り強く練っているか。「全」 	<ul style="list-style-type: none"> 発想から構想、製作手順などを計画的に順序を考え整理し、適切な材料の選択をしているか。「つ」

観点	指導の留意点	評価の事例
創造的な技能	<ul style="list-style-type: none"> つくりたいものの発想や構想を確かめるために、簡単なスケッチや画用紙での試作などを必要に応じて試みさせる。[つ] 	<ul style="list-style-type: none"> 対象の遠近感、立体感、材質感などを意識して、自分の思いが表れるように工夫しているか。 表したい色あいに即して絵の具で色をくり出し、自分の思いが表れるように彩色しているか。「絵」 混色や重色、色の濃淡やじみ、ほかしなど、水彩絵の具の技法を知り、必要に応じて試みているか。「絵」 彫刻刀の種類を彫りありととの関係を理解し、効果的に製版をしているか。「絵」 粘土の量を加減し、量感のある作品をつくっているか。「立」 製作の手順を考え、見通しをもって計画的に製作しているか。「立」 表現製作の意図を理解したり、自分の表現を見直したりして、表現製作を充実しようとしているか。「全」
鑑賞の能力	<ul style="list-style-type: none"> 身近な我が国の美術作品を中心に、子どもの興味のあるもの、親しみのあるものの中から表現に関連のある作品を取り上げ、表現製作の参考資料として活用する。(5年)【全】 我が国及び諸外国の絵画、彫刻、工芸などの美術作品の中から、子どもの表現活動に関連のあるものを取り上げ、表現活動の内容を豊かにする。(6年)【全】 友人の作品の中に自分の思いや感じの方の重なりを見出したり、自分との表し方の違いを感じとりして、それとのよきを認め合うようになります。「全」 表現の効果を高めるために、鑑賞の指導を独立して行うことにも配慮する。「鑑」 	<ul style="list-style-type: none"> 美術作品を鑑賞して、表現の方のよさを自分なりに感じ取り、発表できたか。【全】 自分の表現と関係づけて作品を鑑賞しているか。【全】 身近にある絵画、彫刻、工芸などの美術作品の美しさやよさを感じ取り、自分の表現に役立てているか。【全】 友人の作品から表現の意図を理解したり、自分の表現を見直したりして、表現製作を充実しようとしているか。「全」

附錄三 圖畫工作科（美勞）教科書的指導內容系統

指導內容の系統

教科書全体のテーマ		自分らしさを發揮する表現の追求	
学年		1年	2年
内容構成	学年のテーマ①	形や色とのたのしい出会い	
	学年のテーマ②	つくるのだいすき いろいろな形や色と友だちになろう	
造形遊び	身体全体を使って、身近な材料に親しむ活動	⑩⑪はだしになって、すなともだち ⑩⑫いろんななかたち、ふくろにいっぽい	⑪ねん土はつづくよ、どこまでも ※⑬ひろいばしょで
	机上で、身近な材料で遊ぶ小さな活動	⑩⑪はっぱやいしもみんなのなかま ⑩たとえば、つんだりならべたり。ひとつつんだら、もうひとつ ⑩うつしてあそぼう	⑩タオルクルクル ⑩木のはとえだで ⑩むすんでひらいでつないであそぶ
	身近な材料で、構成的な遊びをする活動	⑩⑪雨の日だって	
絵に表す	生活経験をもとに、思いをふくらませて表す	⑩⑪みんなのすきなえ ⑩おふろだいすき ⑩もういちど、うにいきたいな	
	空想・想像したこと自分らしい表し方を工夫して表す	⑩⑦ひらくとかわる ⑩つけた ⑩グルグルからうまれたよ ⑩どろろえのぐのはりねずみ ⑩つづきんどん ⑩こんなはみつけたよ	⑩⑦絵のぐから生まれた3びき ⑩夜の空、ふかい海 ⑩くちはしの大きな鳥 ※⑩おしへに雪がふってきた
	版で表す	⑩⑩ここはどこ？	
立体に表す	粘土で表す	⑩⑪きょうりゅういっぴきくださいな	⑩⑪グアナコ、アノア、バーラルって
	木や雑材で表す	⑩⑪ジャングルピニック	⑩とうめいうさぎのおなかには

(○の数字はページ数を、※印の題材は選択的取り扱いを示しています。)

3年	4年	5年	6年
自分の力で試しながら	美しさ、確かさに向けて		
自分の力で試してみよう	いろいろな表し方を見つけよう	自分の考えや感じを大切にしよう	自分らしい表し方で表そう
⑩⑪あの道、この道、どんな道	⑩⑪トム・ソーサになつて		
⑩⑪切ったり、つけたり、つなげたり	⑩指より細いざりようで		
⑩⑪つんで、つんで、つみ上げながら	⑩じょうぶにつないで、それから…		
⑩⑪すごくさむい日に	⑩⑪帰り道	⑩⑪春の風を感じて ⑩⑪日曜日の夕食会	⑩⑪わたしだけの空と風
⑩⑪絵の具も筆も、みんなびっくり	⑩⑪曼モスを追え ⑩⑪ゆれ動く気持ち	⑩⑪マンモスを追え ⑩⑪ゆれ動く気持ち	⑩⑪芸術家の心にふれて ⑩⑪出番を待つピエロ
⑩⑪しゅやくをきめて	⑩⑪思いを重ねて ※⑪板切れが生きものに見えてきた	⑩⑪ボリ容器が海底ルームに	⑩⑪わたしの中の、もう一人のわたし
⑩⑪どうぶつ村のきょくげい大会	⑩⑪きみはねん土のマジシャン	⑩⑪たまごから生まれた意外なドラマ	⑩⑪ね土の岩が…
⑩⑪ぱくは島の王さま	⑩名前はパピボ	⑩⑪心にひびく白いかたち	⑩⑪わたしだけの空と風 ⑩⑪木を切る・みがく

(○の数字はページ数を、※印の題材は選択的取り扱いを示しています。)

3年	4年	5年	6年
自分の力で試しながら	美しさ、確かさに向けて		
自分の力で試してみよう	いろいろな表し方を見つけよう	自分の考えや感じを大切にしよう	自分らしい表し方で表そう
⑩空とぶおすもうさん	⑩⑪とんぼクネクネ、目玉ケルクル	⑩⑪いくつくりううきうきぶん ⑩⑪ナイフ、ヘティングシート	⑩⑪アレ…ホラネ！ ⑩⑪同じものはどれとどれ？ ⑩⑪オットット
⑩⑪くるりとまわして…	⑩⑪わたしの新せい品	⑩⑪サンドイッチボックス	⑩～⑪ユニークな木箱
⑩トントントンのくぎうちあそび	⑩⑪ギーコギーコ、トントントン	⑩糸のこから生まれた災	⑩～⑪土と炎のレストラン
⑩⑪はこのなかみはないよ	⑩⑪うすぐのばして	⑩～⑪1さいの力で	
⑩ホワホワマックのドアかぎり	⑩⑪色糸のけいじゅつ家	⑩⑪土と炎の小学校	⑩～⑪12さいのわたし
⑩光とかけのハーモニー	⑩⑪ゆめを運ぶ乗りもの		
⑩⑪ベットボトルカーニバル			
⑪ウキウキメイクアップ	⑪ランチをどうぞ	⑪本日発売、でこほこ絵本	⑪～⑫だんボールアート
②③小さなびじゅつかん	②③小さな美じゅつかん	②③小さな美じゅつかん	②③小さな美術館
④⑤心から心へ	④⑤心から心へ	④⑤心から心へ	④⑤心から心へ
⑩⑪イメージひろば	⑩⑪イメージひろば	⑩⑪イメージひろば	⑩⑪ジョーの一振り
⑩⑪道具箱	⑩⑪道具箱	⑩⑪道具箱	⑩⑪道具箱

教科書全体のテーマ		自分らしさを發揮する表現の追求	
学年		1年	2年
内容構成	学年のテーマ①	形や色とのたのしい出会い	
	学年のテーマ②	つくるのだいすき いろいろな形や色と友だちになろう	
つくりたいものをつくる	生活をたのしくするものを作つくる	⑩⑪わ、わ、わ、うごくお ⑩⑪ブルブルくん、あそぼうよ ⑩⑪びっくりびょーん ※⑩トントントン、ゆれながら	⑩⑪にんじゃロープで ⑩⑪すすめアイロン丸 ⑩⑪じこりげこ
		⑩⑪すべりだいもつくろう、ぱくのへや	⑩⑪くっつきマスコット ⑩⑪クラスみんなのたんじょうパーティ
	想像したものをつくる	⑩⑪すくはながしゅやく	
		⑩⑪つるすかざり ⑩⑪ひかりをたべたこねこたち	⑩⑪とうめいうざぎのおなかには ⑩⑪ゆらゆらぱしと…
	伝え合うものをつくる		
鑑賞する	②③ちいさなびじゅつかん	②③小さなびじゅつかん	②③小さな美術館
	④⑤こころからこころへ	④⑤こころからこころへ	④⑤心から心へ
	⑩⑪イメージひろば	⑩⑪イメージひろば	⑩⑪ジョーの一振り
発想コーナー	⑩⑪イメージひろば	⑩⑪イメージひろば	⑩⑪イメージひろば
常時活用コーナー	⑩⑪どうぐばこ	⑩⑪どうぐばこ	⑩⑪道具箱

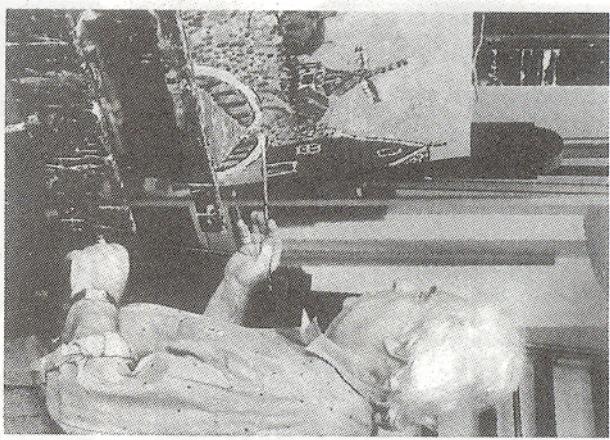
附錄四

小さな
美術館

ポール＝アイズピリ

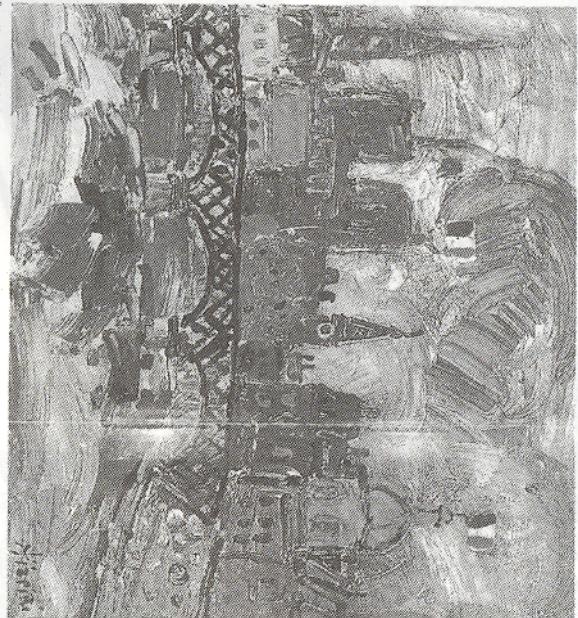
(1919～ / フランス)

「わたしが見つめる
すべてのものを、
わたしはキャンバスの上で
宝石に変えてしまいたい。」

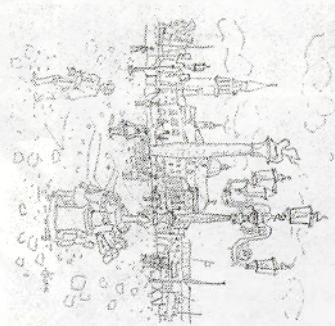


絵はほんものとそっくりでなくてもいいの
だろうか。
見えるもの、感じ取ったものを自分らしく
表すことは、きっとたのしいことだろう。

●自分が納得するまで、くり返し表現している

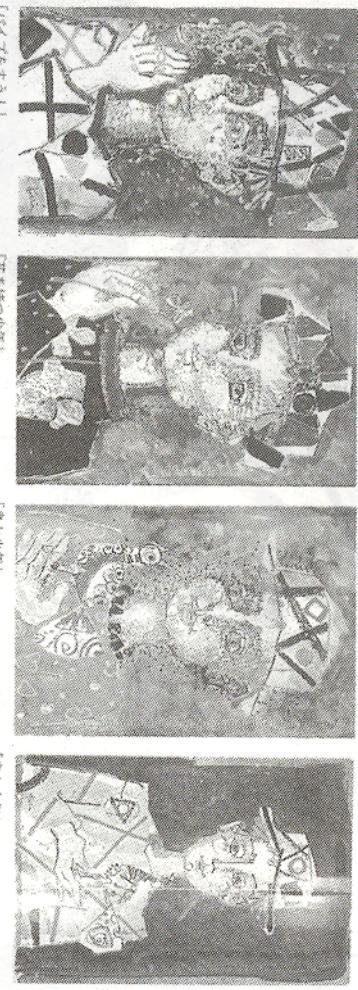


「フランス学士院」(81×100cm)



「ベニスのサンマルコ広場
のスケッチ」

「ほおずきのある静物」
(130×195cm)



「ハイフをうる人」

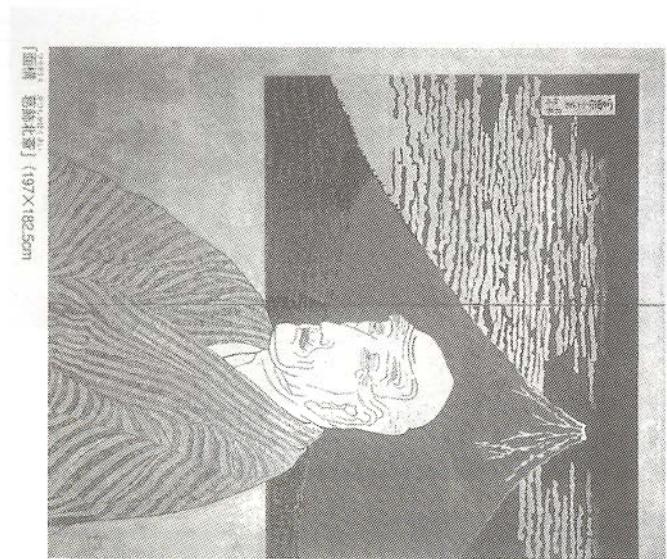
「花を持つ少年」

「鳥と少年」

「鳥と少年」



附錄五 小小美術館



「白い愛き猫士（黒猫の見える日）」(41×53cm)



「參觀圖」(253×162cm)



「富士に歎花(二曲びょうぶ)」(160×246.5cm)



「雪降りそめし富士」(50×60.5cm)



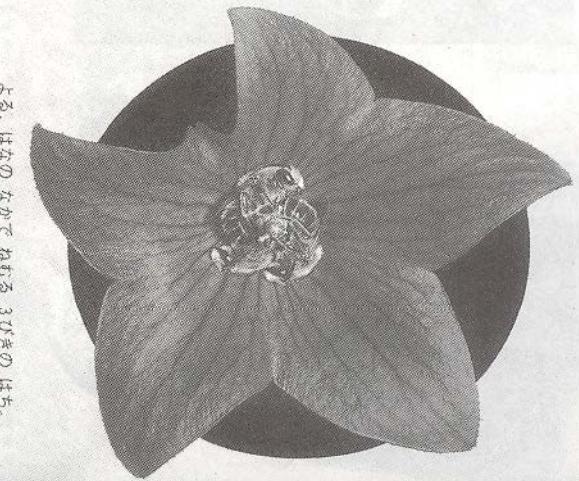
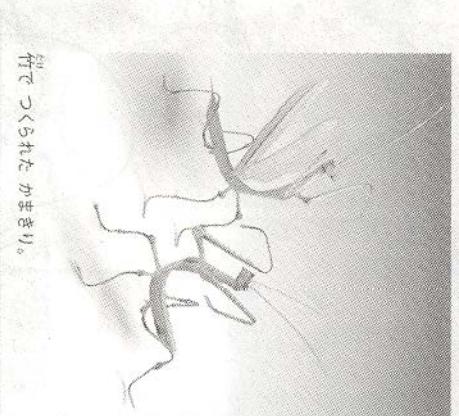
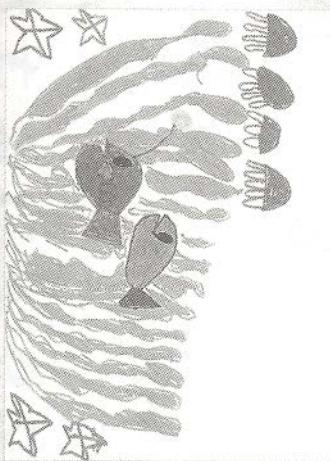
「一生に一枚でいい、人の心を打つものがかけねば…。富士山を歩いて、もう20年を越えます。富士山は名山で、わたしのようなものは一生かかってもうまくかけません。いつも富士山に懲られております。」

同じ富士山でも、見る場所や表すときの
気持ちによって、表現も変わってきます。

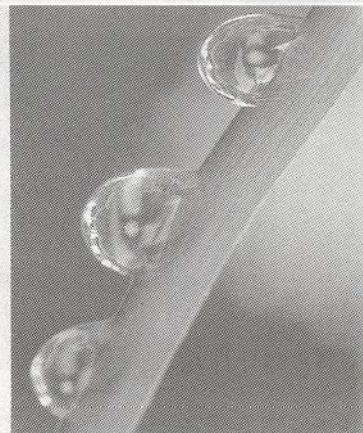
附錄六

๕๘

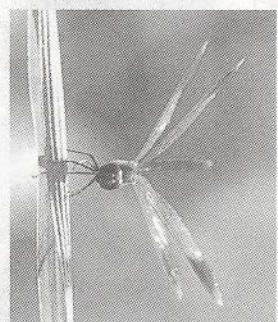
ちいさなじゅつかん 2 ·
ここからここへ 4 ·
● つくるのだけす
みんなのすきなえ 6 ·
わ、わ、うごくかお 6 ·
どうぶつさんみーつけた
はだしになつて、すなとどもだち 10 ·
はつぱやいもみんなのなかま 10 ·
つるすかさり 1 ·
ぼけつとぼく 1 ·
きょうりゅういっぴくくださいな 14 ·
きかないとつくりたいことを
おふろだいすき 16 ·
いろいろなからくふくろにいっぽい 1 ·
ひかりをたべたこねごたち 1 ·
グルグルルルがらうまれたよ 2 ·
ブルブルくん、あそぼうよ 2 ·
どちらのねのはりねずみ
ジャンケンピクニック 2 ·
つづきえどんせん 2 ·
たとえ、つんだりならべたり。
ひとつつんだら、もうひとつ 2 ·
すべりだいもつくろう、ほくのへや 26 ·
いろいろなからくいいろどともだちになろう
うつしてあそぼう 2 ·
こんなはなみつけたよ 2 ·
びっくりよーん 3 ·
ボトントントント、物れながら 3 ·
もういちど、うみにいきたいな 32 ·
あたらしい1ねんせいにも
みせてあげたい! 34 ·
イメージひろば 36 ·
どうくはこ 38 ·
3 ·
じぶんらしさをたいせつに
2 · 3ページー・がいたりつったりすること
のたのしさや、いろいろなあらわしかたが
あることをかんじってください。
4 · 5ページー・じぶんらしくあらわしたり、
じぶんらしくいきていくことのすばらしさ
やないせっつきをかんがえてください。
36 · 37ページー・め、あたま、でをつかって
イメージをひろげるときのヒントにして
ください。
38 · 39ページー・どうぐはにんぎんのちえの
けつしょです。どうくをつかうときの
さんこうにしてください。
● かつどうのおおきなねらいを
あらわしています。



よる、はなのなかでねむる3びきのはち



きよろきよろうじくとんぼのめはなかでねむるはち。はっぱからぞくみどりのかえり。つゆにうつるあかいはな。はっぱからぞくみどりのかえり。



ヘタヘタ ヘタヘタ
タタタタ タタタタ

(一九三三)

卷之二

ଗୁରୁତ୍ବ କେବଳ ଏହିରେ ଥାଏଗଲା ●

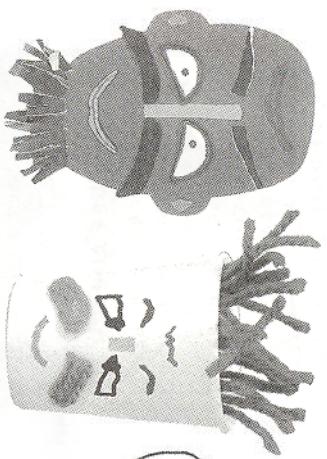
こころから

あそび
心のしく
プロジェクト

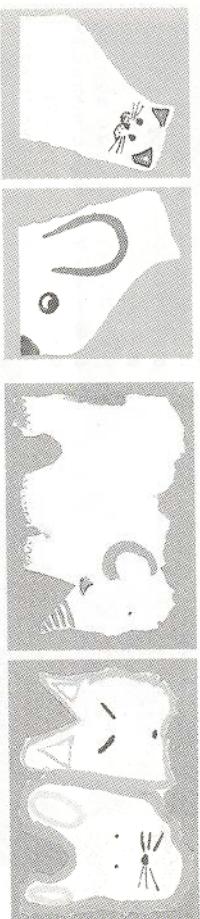
さかさまにすると

見てみよう、かんじてみよう

- 上下をさかさまにすると
〈一つの顔が…〉



くちぎった紙から (同じ紙のおもてどうらに)



- 大きさをさかさまにすると

〈しゃしんやざっしの切りぬきから〉

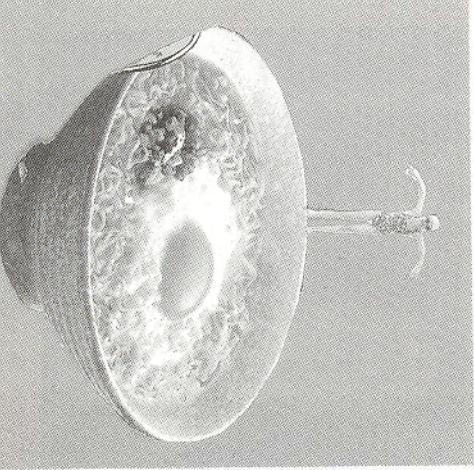


大きすぎて、けれないよー。

このくつ、
すみごちがいいわ。

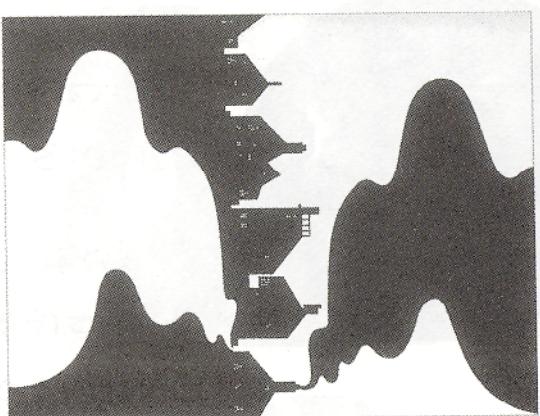
そうさんがら、→ ぞうしょこつせぬる

ねこのタマが、→ こまのボ

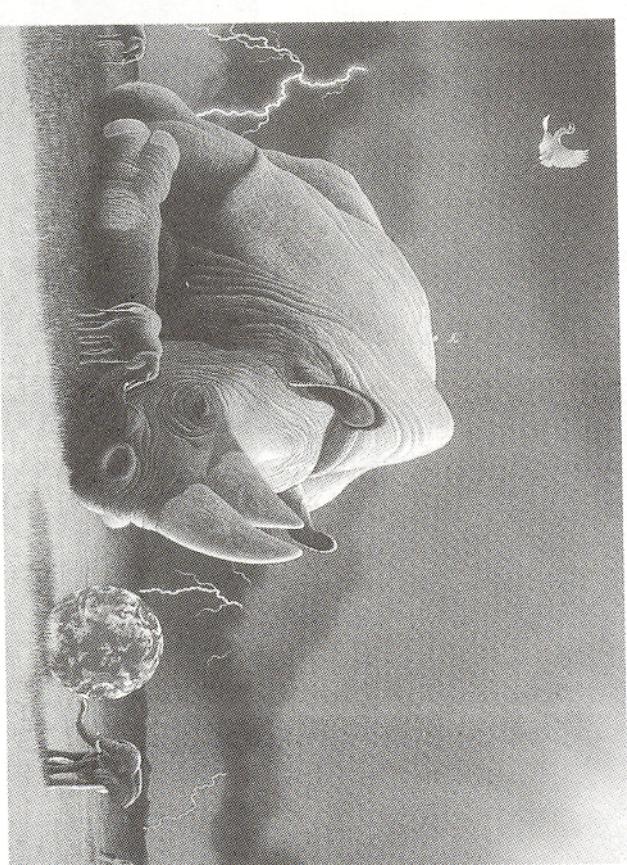


ラーメン、大きき！

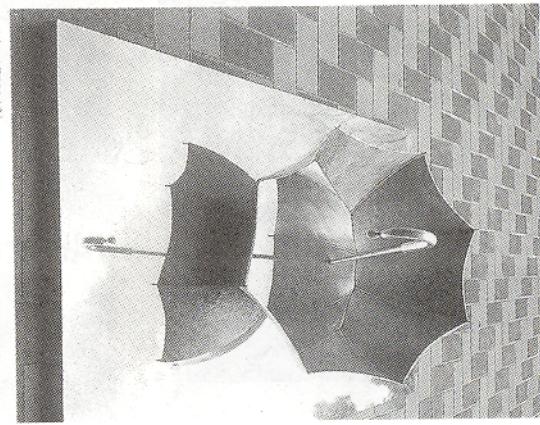
絵本「ラウンドトリップ」アンデショナス
上下をさかさまにして見ると、ちがつたしきが見える。



「さふ」 遊戲堂 (1919~)



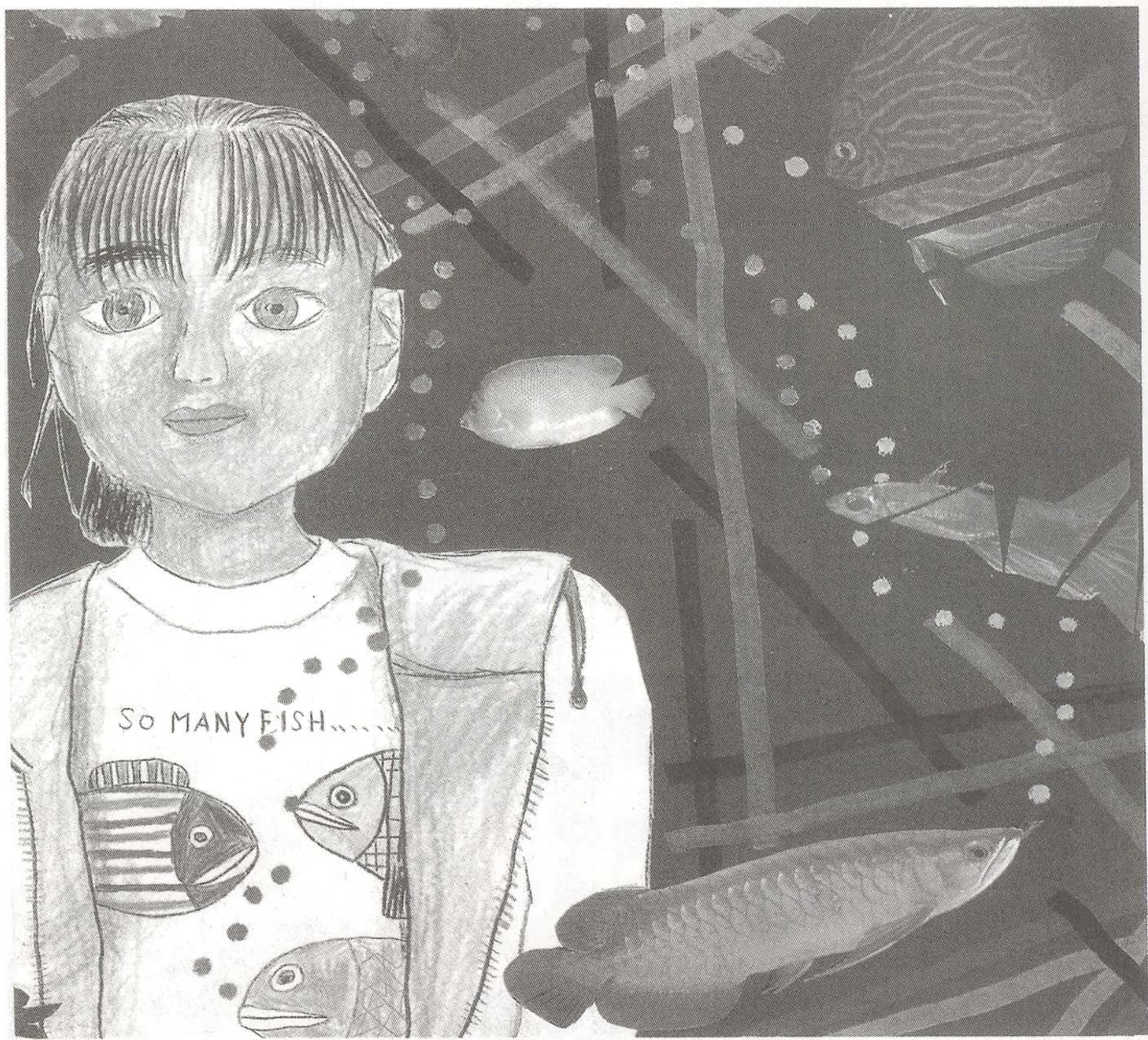
「ずうっと地球にすみたいな」シムキンメール (1954~)
／アメリカ
人間にころされて数少なくなったクロサイは、アフリカ大陸にわずか2400頭になってしまいました。
大きなクロサイは、小さな地球をどんな気持ちで見つめているのでしょうか。



附錄九

图画工作 6

文部省核定 漢教科書
小学校图画工作用
9
開隆堂 図工 606

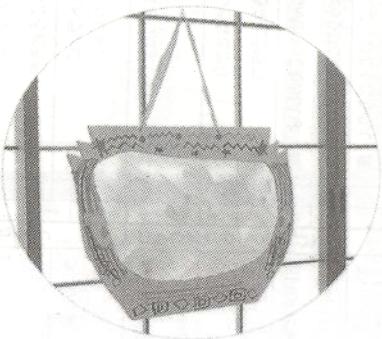


日本造形教育研究会・開隆堂出版株式会社

附録一〇

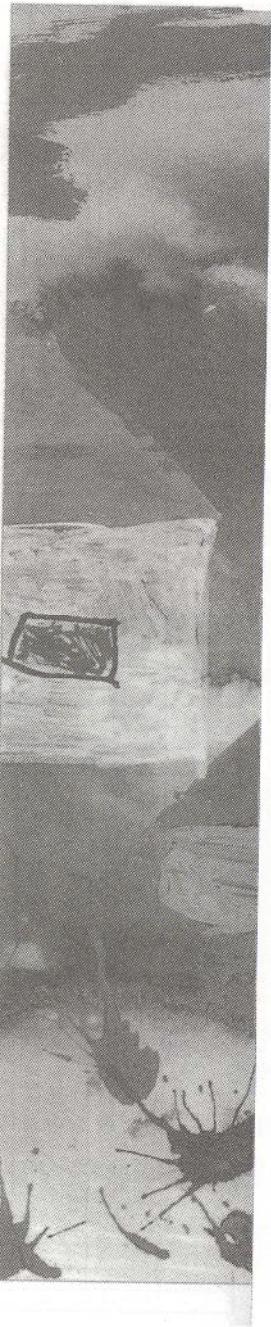
かざってたのしむ

家に持ちかえつて

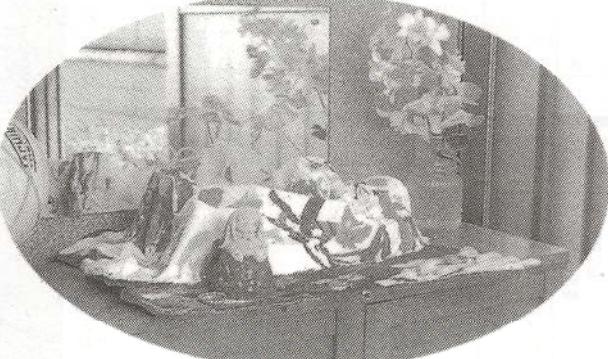


図工の時間に、心をこめてつくった作品。
かざっておいたら、家族のみんなが見てくれました。

おばあちゃんへ、プレゼント。



くつばこの上に「島の王さま」。



はずむ色で

図画工作3

9
開隆堂
図工366

平成7年2月28日 文部省検定済
平成8年12月1日 印刷
平成8年12月5日 発行

表紙デザイン：高木義行／本文デザイン：藤崎博／写真：岩田正夫・神尾亮多・望月孝・木村明子／図版：前田直子・美和企画
定価=文部大臣が認可し官報で告示した定価（上記の定価は、各教科書取次会社所で表示します。）



小学校	
3年 組	

この教科書は一部に再生紙を使用しています。

●著者 日本造形教育研究会

代表者=伊藤弥四夫・小関武明・山本文彦 顧問=真鍋一男

●発行者 開隆堂出版株式会社

東京都文京区向丘1丁目13番1号 ●印刷者 共同印刷株式会社

代表者=中村周子 東京都文京区小石川4丁目14番12号

代表者=山口政廣



●発行所 開隆堂出版株式会社

東京都文京区向丘1丁目13番1号 電話=03(5684)6117(出版)

03(5684)6114(供給)

「鳥にのって、おしろの上をひとまわり」

「新しい図画工作」題材一覧表（各題材の授業時数配当と題材配列）

内容の略号 造…造形遊び 絵…絵に表す 立…立体に表す つ…つくりたいものをつくる 造…器質する

年		3年		6年	
1	木箱でできたたのしい店	内 容	時 間	内 容	時 間
2	情景、みんなで 風と遊ぼう	情景／段ボールで作る	内 容	情景／いかがわって楽しいな 大変身	内 容
3	目次／主な材料・用具	目次／主な材料・用具	内 容	目次／主な材料・用具	内 容
4	かせいあのね	絵 2月	そらそら かのうじなるかな	絵 2月	思ひ ゆがが生まるるジャボン玉
5	うそ	達絵 2月	そらそら かのうじなるかな	達絵 2月	思ひ ゆがが生まるるジャボン玉
6	うそ	つ造 4月	そらそら かのうじなるかな	つ造 4月	思ひ ゆがが生まるるジャボン玉
7	うそ	うそ	がるがるがるがる	うそ	うそ
8	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
9	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
10	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
11	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
12	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
13	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
14	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
15	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
16	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
17	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
18	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
19	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
20	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
21	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
22	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
23	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
24	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
25	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
26	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
27	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
28	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
29	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
30	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
31	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
32	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
33	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ
34	うそ	うそ	うそ	うそ	うそ

附録

できたできたのしいな



せんせい　あのね……
どんな もようになるのがな
かせと あそぼう……
なんとも かけるぞ……
すなや つちと ともだち……
ころころ へつたん（ローラーあそび）……
ころころ べつたん（かたおしあそび）
そらき とべたら……
みすに うかべて……

おもったことをたのむ
がっこうでたのしいよ。
かおかおかお、どんなかお
ならべてつなげて……
みんなといっしょに……
へんしんドロヘン……
かみパックン……
ころころおもちゃ……
レストランにいらっしゃい……

すきな かきかたつくりかたで
おはなしたまではこ……………2
ふしきなさかな……………3
すきな どうぶつ……………3
1ねんせいってたのしいよ……………3
きょうしつさんありがとう……………3
○がいくくのともだちのえ……………3
○こんなことを しているかな?……………3

【そういうあそび
つくりたいものをつくる】
【えにかく
ねんどでつくる】

そのじかんにつかう、おもなさいりようやようぐさす。

ヒカルの月

おまかせ

おまかせ

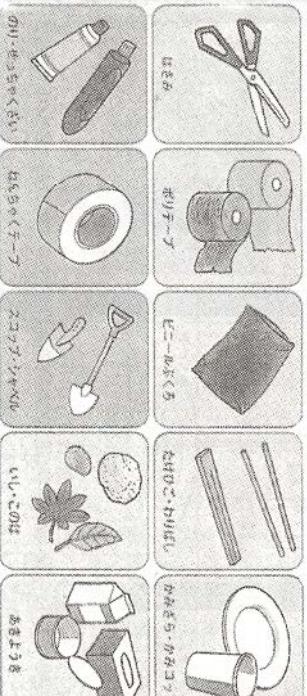
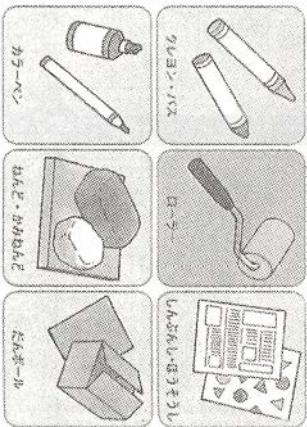
おまかせ

ページのなかに、やでくるマークのついた
さくひんは、うえのどれかをくふうしたもので。
いろいろなさくひんをさんこうに、じぶんのかんがえを
たいせつにして、かいたりつくったりしよう。

●ざいりょうやようぐをたいせつにしよう。

●のこったさり) ようは、せりじそしまつておこう。
●ごみをすてるときは、ちえるものともえないものにわけよう。

えがうごくよ。
どうするのかな。



ପ୍ରକାଶକ

附錄一三

じ込んでくふうしてがこうつくしたのマークのところをみてごらん。なにかヒントがみつかるよ。

じぶんでくふうしてかこうつくろう
したのマークのところをみて ごらん。
なにかヒントがみつかるよ。

すここのじかんにつかう、おもなさいりょうやようぐです。

うやようぐです。

が
どん
うか

附録一四

教科書の紙面構成について

教科書ページを、子どもたちにも先生にも使いやすく、見やすい紙面にしました。

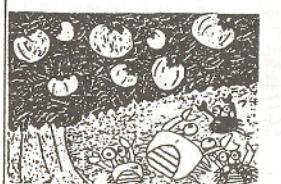
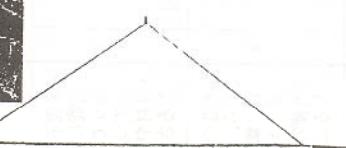
版画でこんな世界が



版画は白と黒の世界だけでなく、美しい色の世界も持っている。
いろいろな版画の表現方法の中から、自分の好きな方法を選んで、想像の世界を表現してみよう。

1 版画は白と黒の世界だけでなく、美しい色の世界も持っている。
いろいろな版画の表現方法の中から、自分の好きな方法を選んで、想像の世界を表現してみよう。

2



さるかにのかせん 物語の一場面をみんなでぶんたんして、楽しい感じで語りました。(白黒の木版画 45×80cm)

3



見てごらん 物語の一場面を、そのみんな団がよく出るように書いています。



見てごらん 物語の一場面を、そのみんな団がよく出るように書いています。

しまふくろうの巣 (2色刷り木版画 32×64cm) 幸田正三郎 (1935年生まれ)

4

5

もしも、大仏が動きしたら
マーブリングした紙に白墨の木版画を刷って、
大仏が金色に光かがいて見えるようにして
みました。
「マーブリング」白墨の人形画 45×30cm
＊マーブリングのやり方は、34ページを見てください。



心のとがら 非現実的な空想の世界を楽しむために、
白墨の木版画に砂の具で絵をかき加えて、ふしぎな
感じが出るようこうみました。
白墨の木版画 35×45cm



別の表し方で
不思議な絵物語

最初に、不思議な地図を自分で考えました。
次に、登場する動物などを添えながら、黒墨用紙に
多色刷りし、それを切って和紙にはりました。
そして自分で考えた動物の文字を書きました。
古い動物の感じが出てるように、和紙を折りちぎったり、
文字を筆で書いていました。



しまふくろうの巣 (2色刷り木版画 32×64cm) 幸田正三郎 (1935年生まれ)

①題材名

子どもの自由な発想と思いを引き出すような夢をふくらませるものにしました。
大きく見やすい文字にし、必要に応じてサブタイトルも設定しました。

②主文

先生が子どもたちに優しく語りかける形で、イメージをふくらませながら、楽しい造形活動に導くようにしました。

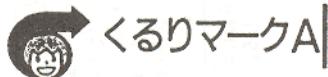
③作品解説

子どもが自らの言葉を使って思いを語る形で、みずみずしい子どもの感性が表れるようにしました。

④造形活動の3要素

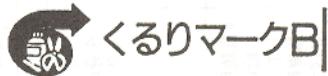
造形活動をする場合に必要な3つの要素を、各題材とも左下のコーナーにまとめました。子どもの創意工夫を生かすところは自由に開放し、子どもたちの個性がじゅうぶん發揮できるようにしました。これらの要素の変更例がくるりマーク。

●各種マークについて



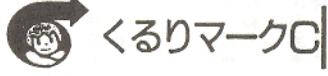
くるりマークA

造形要素の表現主題を
変更した作品例



くるりマークB

造形要素の材料用具を
変更した作品例



くるりマークC

造形要素の表現方法を
変更した作品例



ひらめきマーク

ワンポイントアドバイス [青]
安全指導や注意事項 [赤]



はてなマーク

クイズ形式で楽しく考えさせる
コーナー



見てごらんマーク

鑑賞作品や、表現の参考になる
資料写真など

附錄一五 圖畫工作科年度指導計畫

(6年のテーマ) 心にひびくような表現をしたば

* 内容の略号 [絵] 絵に表す [立] 立体に表す [つ] つくりたいものをつくる [置] 館蔵する

<評価の観点項目> ①造形への関心、意欲、態度 ②発想や構想の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力

評価の観点

題材の広がり

他の留意事項

月 例	ページ/題材名	[内容]	時	題材のねらい	学習の内容	準備	評価の観点	題材の広がり	他の留意事項
10 何を どう表 現す るかくふ して	p. 21-22 こんな家に住みたいな	[立]		自分の住んでみたい家、未来の家など、つくりたいものを工夫してつくる遊びを味わう。	自分の思いにそって材料を集め、材料の特性を考えて、計画的につくる。	近にある材料、木工用工具、竹材、麻ひも、こぎり、焼き物用粘土	①住んでみたい夢の家の考え、工夫してつくることに積極的にかかわり、作業をしている。 ②思いにそって材料を集めたり、計画的につくろうとしている。 ③材料の特性を考えたりして、さまざまな工夫をしている。	牛乳パックをたくさん集め「天空の城」にしたり、空き容器やカップをつないで「夢の城」にしたりするなど、共同製作をすることもできる。	* 特別活動との関連(展覧会への活用)
11 月 ⑧	[つ][立]	p. 23-24 手づくり楽器で音楽会		自分の考えた楽器をつくる喜びと、みんなで演奏する喜びを味わう。楽器の仕組みを知り、自分の音が出る工夫をする。	自然材や廃材から音探しをする遊び、音の出る仕組みを考え、よい音の音色を楽しめる。音の出し具合や、音の調節をし、自分で曲を考え演奏する。	用紙に絵の具をたらしたり透明プラスチック板をしたりして不思議な色や形の絵を表す。透明プラスチック板の透き通った絵から幻想的な世界を想像して表現を楽しむ。	②前後の画面に表現するものを考え、大きさや配置を工夫しようとしている。 ③透明プラスチック板の透き通る特徴を生かし、画面を工夫しながら、自分なりの表現をしている。	p. 9-10の「大昔のくらし」と関連させて扱う。 * 音楽科との関連(楽器) * 特別活動との関連(学校行事一音楽会) * 材料集め事前予告	
12 月 ⑨	[つ]	p. 25 もう一つの世界 (うめいな絵を重ねて)		数枚の透明プラスチック板を重ねて重ね、そこに奥行きのある世界を想像して表現を楽しむ。透明プラスチック板の効果を生かし、色彩や配置の工夫をし、不思議な世界を表現する。	用紙に絵の具をたらしたり透明プラスチック板をしたりして不思議な色や形の絵を表す。透明プラスチック板の透き通った絵から幻想的な世界を想像して表現を楽しむ。	用紙に絵の具をたらしたり透明プラスチック板をしたりして不思議な色や形の絵を表す。透明プラスチック板の透き通った絵から幻想的な世界を想像して表現を楽しむ。	・具象的な絵柄だけでなく、抽象的な模様をデザインし、額装して飾ってみるのもよい。 ・透明プラスチック板の透き通る特徴を生かし、画面を工夫しながら、自分なりの表現をしている。	* 透明プラスチック板の利点を生かし、図鑑などの絵柄をなぞって写し取ることもできる。	
⑩	[絵][つ]	<選択題材>		2つの抽象的な絵を組み合わせて、新たな絵の世界を表現する楽しさを味わう。マーリングやその他の絵の具の技法を試みながら、自分の思いに合った表現をする。	一枚の絵に意を向け、下の別の絵の世界とつなげ、不思議な世界をつくる。折る、切る、切り抜くなどの細の特質を生かした技法を使って、表し方を工夫する。	用紙に絵の具をたらしたり透明プラスチック板をしたりして不思議な色や形の絵を表す。透明プラスチック板の透き通った絵から幻想的な世界を想像して表現を楽しむ。	①別世界の意を開ける不思議さに思いをもち、表現を楽しもうとしている。 ②自分の絵の特徴や、自分らしい表現の工夫をし、折る、切る、曲げる、カールするなどの紙の技法を生かして表している。	・自作の額縁をつくり、飾る。	* 社会科との関連(歴史的人物: 雪舟、歌川広重など)
⑪	[絵][つ]	p. 26 もう一つの世界 (絵にまとを開けて)		自分の顔を見つめて、特徴や性格、現在の自分の心中を表現する。多くの画家の描いた自画像を鑑賞し、表現の違いを知ることを通して、自分なりの表現をする大切さに気づく。	鏡に映った顔だけでなく、スプレー用紙、絵の具、ラーメンボルネークリング用絵の具、ラースニアフレーナイフ、はさみ、刃物など	鏡に映した顔など、好きな自画像を複数枚選んで、自分の表情を換する方法を選ぶ。今まで学習してきた技法を生かしながら、新たに技法を用いるなど、自分の意に合わせて工夫をして表す。	③自分の顔の特徴や、自分らしい表現の工夫をし、折る、曲げる、カールするなどの紙の技法を生かして表している。	・未だのわたし、〇年後のわたしなどを作成する。	* 特別活動との関連(学校行事一お別れ会・学年集会)
⑫	[絵][壁]	p. 27-28 自分を見つめて		自分の顔を見つめて、特徴や性格、現在の自分の心中を表現する。多くの画家の描いた自画像を鑑賞し、表現の違いを知ることを通して、自分なりの表現をする大切さに気づく。	鏡に映した顔など、好きな自画像を複数枚選んで、自分の表情を換する方法を選ぶ。今まで学習してきた技法を生かしながら、新たに技法を用いるなど、自分の意に合わせて工夫をして表す。	鏡に映した顔など、好きな自画像を複数枚選んで、自分の表情を換する方法を選ぶ。今まで学習してきた技法を生かしながら、新たに技法を用いるなど、自分の意に合わせて工夫をして表す。	④自分の顔の特徴や、自分らしい表現の工夫をし、折る、曲げる、カールするなどの紙の技法を生かして表している。	・未だのわたし、〇年後のわたしなどを作成する。	* 特別活動との関連(学校行事一お別れ会・学年集会)
⑬	[絵][壁]	p. 29-30 飛び立つ前に (記念の小箱)	2月 心をこめて	卒業を前に、自分の気持ちや思いを造形物に変えて残す喜びを味わう。丈夫な箱づくりと、自分の思いがよく表れる構成をする。材料と道具を生かし、計画的に制作する。	板やペニヤ板を使って、開け閉めができる丈夫な箱をつくる。つづり、ドライバー、永く残したい自分の思いをどう表すか、構想を練る。ようつがい、木ねじ、手用の器具、工具用ボンド、糊の具	のこぎり、くぎ、木ねじなどを相談し、テーマを決める。工具用ボンドで構成を作り立てる。工具用ボンドで協力しながら分担して、大きな作品を表したりする。	①箱の中に、自分の思い描いた世界や思い出の場面を、自分なりの発想で積極的につくり出していくものについて、製作方法を自分で見つけ出し、丈夫に美しく表している。	・板の代わりに牛乳パックの箱で入れ物をつくり、永い間大事にしてきた自分の宝物を入れて、「思い出の宝箱」にすることもできる。 ・「1990年の私」「タイムカプセル」などのテーマも考えられる。	* 国語科との関連(お別れ文集) * 社会科との関連(わたしたちの町) * 特別活動との関連(学校行事一お別れ会・学年集会)
⑭	[絵][つ]	p. 31-32 飛び立つ前に (夢、はばたけ)	3月 ④	卒業を前に、記念になるもの、自分の思いや友達との思いをつくる喜びを味わう。今まで学習してきた技法を使用して、心を込めてつくる。	掲示場所や表す形態、大きさなどを相談し、テーマを決める。工具用ボンドで構成を作り立てる。工具用ボンドで協力しながら分担して、大きな作品を表したりする。	くるものに合わせて準備する。①卒業を記念する作品を、心を込めてつくり出している。③構成から製作を完了するまでの過程をふまえ、創造的な技術や道具など	①卒業を記念する作品を、心を込めてつくり出している。 ③構成から製作を完了するまでの過程をふまえ、創造的な技術や道具などを表している。	・卒業記念の他、学校の〇年記念や地域の記念行事などとも関連させることも考えられる。 ④作品を大切にしている。	



1. 題材設定への思い

6年生になると、卒業に向けて小学校生活の締上げの1年間が始まる。1日1日が小学校生活の最後の思い出となる。しかし、思い出といっても、解釈によっては「昨日=過去」ばかりを意味するとは限らない。まどろっこしい言い回しをすれば、「昨日」のことを振り返る「今日=現在」も「明日」になれば思い出となり、「明日=未来」に夢や希望をたくす「今日」も「明日」になれば思い出となる。

複雑な現代社会の中で、様々な戸惑いや不安と直面しているであろう子どもたちは、6年生という社会制度の節目に「昨日・今日・明日」について、何を考え、感じているのか、表現活動を通して探りたいと思い、この題材を設定した。そして、そのためには、造形活動の「シャワー」を浴びさせるだけでは、その実像はつかみにくいと考えた。そこで、子どもたちが、リアリティ（実感）を感じられる日常の中から主題を見つけて出し、モニュメントにしていくという、表現活動の流れとしては、基本的な手法を設定した。この体験が、中学への橋渡し、そして、明日を「生きる力」となればという願いを込めて。

2. オブジェクト目標

- (1) 沢山の刺激的な情報に惑わされることなく、身近な日常にも目を向け、身のまわりの小さな出来事（ドラマ）を意識できる感性を身につける。
- (2) 表現活動に見通しを持って取り組み、手順や技法を自分で選択し、試行錯誤しながら活動していく、主体性と粘り強さを身につける。
- (3) たとえ特殊な資質を持ち合わせていなくても、再現的なイメージから象徴性を抜き出したり新しいイメージを付け加えたりする表現活動の基本を経験する過程で、表現する喜びや達成感を味わえるようになる。

4. 学習活動の展開 (45分×7コマ=325分)	
時間	児童の活動 教師の役割
45分	<p>①学習カードに身の回りの出来事から選んだ[1]。「昨日・今日・明日」の考え方をテーマを文章やアイデアスケッチで表し、イメージを較っていく。</p> <p>②まず、アルミ線とアルミ箔で人物（自分）を作り、イメージを確かめていく。</p> <p>*全員が同じ大きさで、作り方を経験し、その後、必要に応じて大きさを変えていく。</p> <p>*カードに本時の反省や次時の予定を書き、制作の見通しを立てる（以後毎時行なう）</p> <p>*カードに反省や予定を書くことで、制作の見通しを立て、意欲が継続していくことをねらう。</p>
225分 本時 45/225	<p>③人物の動きにあわせた背景や装飾を作りながら、表したいイメージをあげていく。</p> <p>主な材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土台用板・アルミ線・アルミ箔 ・アルミ板・スチールメッシュ ・ラビーテープ・接着剤 ・使いたい材料（児童が集めたもの） <p>主な技法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上台に部品を固定する方法 ・アルミ線、アルミ板、好みの切り断、裁断用具の使い方 ・各材料を接着するときのコツ <p>④友だちの作品から感じたこと、自分の活動(テーマ)を選んだ思いが、どのように表を振り返って思ったことなどを、カードに現されているか、それぞれの良さを認める視点で発表したり、カードにまとめてまとめる。</p>
45分	<p>198</p>

児童が自分で認知できる範囲の活動を出発点にしながら、いかに、造形的な広がりを体験できるかという観点が、評議においても重要な要素になると考へられる。

本時の評議—自分の思いを表わすために、十分に手や感覚を働かせることができたか。

附錄一七

第11分科会

題材名

「アーチ！」

高井戸第二小学校 4年1組

会議室

新宿区立戸塚第一小 早田 玲子

分科会「人間の原初性からの子供の表現」

テーマについて

人は成長するなかで色々なことを会得していく。沢山の情報、知識、常識。自分の

想像力、嗜好、意思…。造形活動もその影響の下にある。

しかし表現は言葉や意識の上にあるものだけではない。自分が心地よかつたり、なんとなく心ひかれたり、理由はなくしてはなつたり、といった表現があつてもよい。「あっ！いいな」という感動や驚きといった、人間の根本的な感覚に訴えるところから出発してひろげていけるように考えてみる。

1. ねらい

- ・粘土を切断するときの「断面感」(切る触感、聞くときの期待感、視覚etc.)を味わう。

- ・表面の形態を追うだけでおわりがちな粘土と物質として向き合うことで、直接「素材」と感応し、表現の可能性を感じる。

2. 題材設定の理由

子供たちが活動をはじめるきっかけは言葉や既に持っているパターン化されたイメージなど、なんらかの目的に向かってつくりはじめることが多い。

しかし、言葉や既成概念などの理由付けがなくとも自分が表現したい衝動をそのまま表現していいことも感じてもらいたい。

粘土を切ったときに手に残る抵抗感、断面の触感、質感、いさぎよさのような「断面感」を沢山あじわい、どきどきしながら表層ではない物質としての粘土を感じてもらいたい。言葉ではなく、素材そのものが持つイメージを感じながら表現できることに気付いてほしい。

3. 機会の展開 (2時間)

- ①好みのいろいろな形をつくる。(2色の粘土で)



- ②断面を意識しながら、粘土を切りつづけ楽しんだり、切ったものを構成して楽しんだりする。



4. 評価

- ・「断面感」を楽しんだか。

- ・表層のみでなく、粘土を感じられたか。

八一 錄附

